

散走企画コンテスト



NPO法人自転車活用推進研究会は、人類最大の問題である地球規模の気候変動をもたらすとされている化石燃料の消費減少に寄与するため、短距離移動の手段を自動車から自転車に転換することを提唱してきました。自転車は人間の五感を鋭敏にする楽しい存在であり、単なる工業製品を超えた価値を感じさせる移動手段です。その活用は健康を増進し、医療費の抑制につながると期待されており、持続可能な社会づくりに寄与するものです。

株式会社シマノが運営するLIFE CREATION SPACE OVE（東京・南青山）は、2006年1月に始動し、Opportunity（機会）Value（価値）Ease（気楽さ、容易さ）をコンセプトに自転車のある新しいライフスタイルとして「散走（さんそう）」を提案しています。このOVEが、2017年から大学生対象に実施してきた「ソーシャル×散走」企画コンテストを、より守備範囲の広い形で発展させていこうとするものです。

「散走」とは、自転車で散歩するように価値あるモノ・コトをめぐり、その場所、その時間ならではの出会いや発見を楽しむスタイルです。

「散走」= 自転車 + α キーワード：地域、伝統、歴史、食、文化、四季、自然など

コンテスト内容

地域の魅力再発見、課題解決につながる

「散走」企画を募るコンテスト

エコな乗り物である自転車で、地域の魅力やストーリーを楽しむ散走を通じて、持続可能な地域社会の実現につながる斬新なアイデアを若者から募ります！

大賞

1チーム

10万円分の企画実現費用
+ 提案企画の実現サポート

特別賞

1チーム

OVE 散走グッズ
+ 提案企画の実現サポート

次世代の若者に自転車の価値を再発見してもらい、未来の自転車文化を育むため「自転車活用推進官民連携協議会」各団体・企業と連携して、あたらしい「散走」のアイデアを募り、さまざまな地域や季節にさわしい「散走」の輪を全国に広げていきたいと考えています。



募集要項

エントリー
期間

2020年7月11日～8月31日

※詳細は裏面をご覧ください。

応募資格

個人参加、複数名によるチーム参加のいずれも可
学生（大学生・大学院生・専門学生・短大生ほか）
教育機関・企業・行政・非営利団体・地域住民との
コラボレーションなど、どなたでも歓迎。

エントリー
方法

エントリーフォームから
お申し込みください！

<https://forms.gle/T8JeFsSqhLhQunFh8>

こちらの
QRコードを
読み取って
ください



審査員

散走プロジェクト実行委員会メンバー ※50音順／敬称略

- 株式会社SDGインパクト シニア・パートナー 有本 幸泰
- SAKAI散走アンバサダー 初代リーダー 遠藤 克彦
- NPO法人 自転車活用推進研究会 理事 大野 昌仁
- 鎮守の森コミュニティ研究所 特別研究員 倉橋 陽子
- NPO法人 自転車活用推進研究会 理事長 小林 成基
- 株式会社シマノ 管理本部 広報部 参与 神保 正彦
- 一般社団法人ソーシャルプロダクツ普及推進協会 学生部 樋口 晃太
- 京都市立芸術大学 美術学部 教授 藤本 英子
- 独立行政法人日本スポーツ振興センター 情報・国際部 本間 恵子
- LIFE CREATION SPACE OVE マネージャー 室谷 恵美

お問い合わせ

自転車活用推進研究会 散走プロジェクト実行委員会

担当 / 室谷（むろたに）・樋口（ひぐち）

【連絡先】 TEL：090-3990-7269 E-mail：info@sanso.network

企画応募までの流れ



STEP 1

散走企画コンテスト
オンライン説明会に参加する



NPO法人 自転車活用推進研究会ホームページ
<https://www.cyclists.jp/>

【日時】

2020年7月11日(土) 15:00~16:30

説明会の内容は Webでライブ配信予定 (詳しくはHPをご覧ください)

STEP 2

2020年8月31日(月)までに
右記のQRコードを読み取って
エントリーフォームからお申し込みください



エントリーフォーム

STEP 3

散走企画を提出 2020年10月30日(金) 17:00 締切 ※時間厳守

【提出物】

- ①企画発表用資料 (PDF ファイル形式指定、書式自由、50MB 以内)
- ②企画発表動画 (10 分以内の動画を YouTube にアップロードしてリンク先を提出)

STEP 4

2020年11月24日(火) 審査発表 (大賞・特別賞)
NPO 法人自転車活用推進研究会及び、LIFE CREATION SPACE OVE
自転車活用産官連携協議会ホームページにて公開 (予定)

みんなの
斬新なアイデアを
お待ちしております!

STEP 5

散走プロジェクト実行委員会と企画実現に向けて活動スタート

審査基準

①【地域社会性】

- ・持続可能性：企画に中長期的な発展が見込め、より良い地域社会の形成につながるか
- ・地域との関係性：企画に直接・間接的にかかわるあらゆる主体にとって恩恵があるか (Win-Win)

②【企画力】

- ・実現可能性：企画を実現するための具体的な計画が提示されているか
- ・マーケティング：企画がターゲットのニーズを捉えており、適切なプロモーションが設計されているか

③【地域調査力】

- ・散走ルート：地域の魅力が伝わる安全なルートが設計されているか
- ・地域課題の解決：課題解決のインパクトが客観的に示されているか

④【革新性】

- ・着眼点：鋭い視点で地域の課題・資源に着目しているか
- ・斬新性：既存の枠にとらわれない独自の企画か

地域の魅力再発見、課題解決につながる散走企画としては、下記のようなプランが例として考えられます。
※過去の優秀なプランは OVE ホームページにて記載。
<https://www.ove-web.com/event/eventrep/entry-3180.html>



例 1

飲食店や小売店が集中しているエリアを自転車であぐりながら余りものを集めて、それらを調理・実食するパーティーを開催する。

地域社会
への貢献

フードロスの解消

例 2

伝統工芸品の生産過程を自転車であぐり、伝統工芸士と商品づくりを体験する。

地域社会
への貢献

地元雇用の促進、
インバウンド需要の喚起

例 3

オーガニックカフェをめぐる散走を企画し、昼食会を開催する。

地域社会
への貢献

オーガニックの普及による健康増進、
環境への配慮